

その3 りんご温泉ゆけむり紀行

その3 りんご温泉ゆけむり紀行

と、いうわけで、りんご温泉へとやってきた、遠藤さんと桃色ウサビ



りんご園を一周するとりんご温泉にたどりつくよ

ウサビ「よーし！りんご温泉もばっちり取材するぞ！」



完全にくつろぎモード

ウサヒ 「それではウサヒ、温泉にいきマース！」



あれ？



ウサヒ 「開かないよ、遠藤さん」

遠藤さん 「…実はそこは、違う施設なのよ…」

ウサヒ 「どうのこと？」

実はここは、りんご温泉の隣にある「朝日町農業研究所」というところで、リンゴ栽培に関する資料館になっているのだそうです。

ウサヒ 「えー、じゃあなおのこと中に入りたいよ」

遠藤さん 「残念。この資料館は人手が足りなかったりとかもろもろの事情で現在閉館中なの。」

ウサヒ 「えー、もったいないなあ。ウサヒの研究所にしたいくらいなのに。」

(毎日、山形市ー朝日町の間を往復しているので、それだとすごくありがたいです。 by 中の人)

遠藤さん 「こっちが正真正銘のりんご温泉よ。」



さっそくりんご温泉の中へ

「こんにちは、お待ちしておりますよ。」

ウサビ 「だれ??？」



いきなりのお出迎えにびっくりするウサビ。

遠藤さん 「この方が、りんご温泉・有限会社地球耕望の支配人・大泉さんよ。」

大泉さん 「こんにちは、今日はよろしくお願いします。」



うさび 「はわわ、ご丁寧ありがとうございます。よろしくお願いします。」

おもわず、頭をとってご挨拶。

大泉さんには今回、ウサビの案内をしていただくため、わざわざ時間をとっていただいたのです。ありがとうございます。

大泉さん「では、まずは当館自慢のお風呂を見ていくことにしましょう。」

ここでちょっとりんご温泉の紹介

「りんご温泉」



朝日町特産の『りんご』にちなみ命名された温泉で、若い人にも人気です。

りんごを湯舟に浮かべたユニークなお風呂があります。

朝日連峰に沈む夕日と夜空を彩る星の数々…雄大な眺望を温泉に浸りながらゆっくりと眺めると、体といっしょに心まで温まります。

切り傷・やけど・慢性皮膚病・慢性消化器病などに特に効果ある半透明の含重層食塩泉です。自然豊かな朝日連峰を望める露天風呂も併設、レストランなどもあり充実の施設です。レストランでは、朝日町名物の『ダチョウ料理』も楽しめます。(要予約)

りんご温泉HPより抜粋

<http://www.ic-net.or.jp/home/jasagae/gurume/03asahi/021ringo.html>

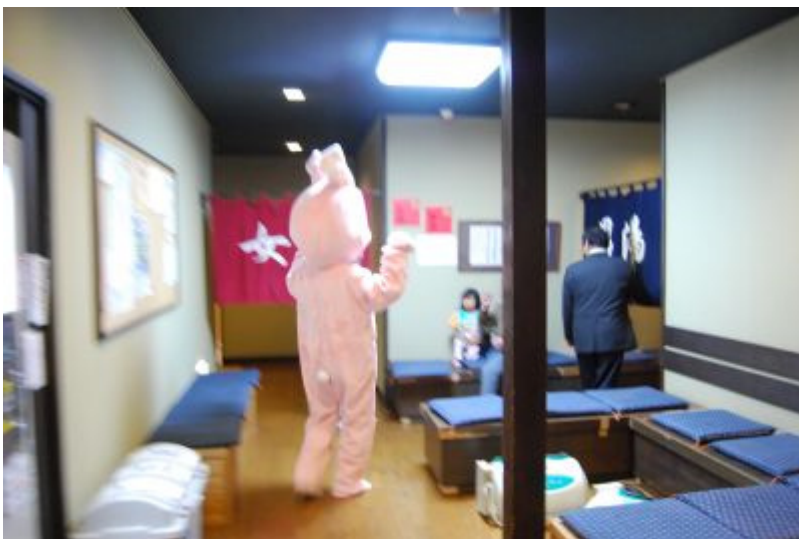
りんごが浮いてるお風呂なんて、ステキですね。

以前に打ち合わせに朝日町に来たときにパンフレットで見て、ぜひ行きたいと思っていたので
す。



第3回目にして、なんだか旅番組っぽさが増したなぁ…って思う中の人。

しかし、周囲の人にはいまだ驚かれています。



突如出現したうさぎの着ぐるみに驚く少女



ウサビ 「どちらかというといいウサギだよー！」

よくわからない自己アピール。でも、少女は警戒中。

そしてたどり着いたお風呂

さてさて、リンゴが浮かぶ湯船とはいかに？



レッツ・バスタイム！

ウサビ 「……あれ？」



風呂場で立ち尽くすウサビ

「……リンゴがない？」



湯船にリンゴが見当たりません・・・

その時でした

「りんごならここにあるぞー」

入浴中のおじさんが、まさかのリンゴ独占状態。

ウサビ「ちょ、それ、ちょうだい。リンゴがないと、ここただの切り傷・やけど・慢性皮膚病・慢性消化器病などに特に効能ある半透明の含重層食塩泉になっちゃう！！」



おじさんにリンゴをこちらに渡すよう指示する中の人。

どうやら、湯船のリンゴは、すべておじさんの周辺に集められていたようです。

(こういう楽しみ方もある)

交渉の末、リンゴを引き渡してもらうことので了解をえました。

あらためまして

ウサビ 「と、いうわけで、こちらがリンゴ温泉です。」



よく見ると、おじさんが最後のリンゴをこっちに投げようとしている



とりあえず脱衣所に移動（風呂場のカゴで遊ぶ自由な生き物）

ウサビ 「パンフだと、もっとリンゴがたくさんあったように見えたんだけどなぁ」

いまいちリンゴが少なかったことが釈然としないウサビ

大泉さん 「あれは撮影が上手だったんだね。湯船のリンゴは香りを楽しむものなので、そんなに量はいらぬんですよ」

大泉さんがあっさり告白

ちなみに、開業当初は期間を決めて大量のリンゴを浮かべていた時期もあったそうです。

ウサヒ 「え？じゃあ、リンゴをいれることによる効能はないの??」

大泉さん 「科学的な効能はないです(肌にいいなどの諸々のウワサはあるけど)。」

ウサヒ 「そうなんだあ」

大泉さん 「でも、朝日町らしさを出すってのは大切です。実は1日2回の入れ替えで、年間通して湯船にリンゴを浮かべるのって大変なんですよ。」

ウサヒ 「どういうこと？」

大泉さん 「冷蔵して保管しているんですが、それでも熟した実は冬を越すと限界がきてしまうんです。

だから、青い状態で保管して、赤くなる時期を計りながら湯船に浮かべているんですよ。

一年中いつでも朝日町のリンゴを使ったお湯を楽しんでもらうための研究の結果なんです。」

というわけで、

りんご温泉の特徴

切り傷・やけど・慢性皮膚病・慢性消化器病などに特に効能ある半透明の含重層食塩泉

リンゴの香りで朝日町につつまれた気分を堪能できます！。



しばらくお待ちください。



ウサビ 「ああ、おきらくごらく～」

3 話目にしてずうずうしさに磨きがかかってきた

大泉さん 「では、次に2階にいきましょうか？」

大泉さんと遠藤さんは待っていてくれました。



2階へと向かうウサビ。

レストランという文字が、期待をたかめます。

つづく